

2 指導案例<2>

「かんなの刃の調整を行い、薄い削りくずが出るようにかんながけをしよう」(本時5/7時間目)

(1) 本時の目標

- ・刃の調整を繰り返し、最適な刃先の出になるように取り組んでいる。(関心・意欲・態度)
- ・刃の調整をていねいに行い、材料の表面を滑らかにして、薄い削りくずを出すことができる。(技能)

(2) 準備・資料

- ・教師：かんな、げんのう、さしがね、ワークシート、USB顕微鏡、プロジェクタ
- ・生徒：教科書

(3) 学習過程

段階	学習活動	指導上の留意点 ☆評価の観点
つかむ 5分	1 前時を振り返る。 2 前時の感想を発表する。	○かんながけを振り返らせる。(刃先の出の調整方法、裏金の調整方法) ○最初にグループ内で感想を共有させ、その後に発表するように促す。 ☆かんながけを行う上での留意点を振り返ることができたか。 (授業の様子)【関】
広げる 15分	3 本時の目標を確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分で刃先の出を調整し、薄い削りくずが出るように木材をきれいに削ろう。</div> 4 教師の示範を見て、かんながけのポイントを再確認する。	
深める 20分	5 かんなの刃先の出を調整する。 6 ペアで相互評価しながら、作業をする。	○かんなの刃先の出は髪の毛1本分(0.05~0.1mm)であることを伝える。 ○ワークシートの観点に沿って話し合いながら作業を進め、切削時の姿勢や削りくずを観察し、互いにアドバイスし合うことを促す。 ○ペアの人に自分の作業を見てもらい、アドバイスをワークシートに書いてもらうように促す。 ○1回目の作業でペアの人にももらったアドバイスを生かして2回目の作業を行わせる。 ☆かんなを正しく使うことができたか。 (作業の様子、ワークシート)【技】
活用する 10分	7 削りくずをワークシートに貼り付け、薄く削れたかを評価する。 8 本時のまとめをする。	○ワークシートに削りくずを貼り付け、評価するように促す。 ○ワークシートに記入させ、本時を振り返らせる。 ☆かんながけを評価することができたか。 (ワークシート)【技】

(4) 評価

- ・かんながけを行う上で、かんなの刃の調整ができたか。(授業の様子から)
- ・正しいかんながけをすることができたか。(作業の様子、ワークシートから)